普及現地情報

発信年月日：令和8年(2026年)10 月9日
所　属　名：高島農産普及課
番　　号：H26015
発 信 者 名：三溝、山下、

『本気の葡萄(ぶどう)づくりチャレンジ説明会』を開催

当課は高島地域農業センターおよび高島市と、9月12日（土）に『本気の葡萄(ぶどう)づくりチャレンジ説明会』を共催しました。当日は12組14名の参加があり、このうち5組6名（10月6日時点）の方から栽培開始に向けて相談を受け対応しています。

高島市は令和6年度からブドウを推進品目に位置付けており、新たなブドウの担い手として、定年帰農者や移住者をターゲットとしています。

去る9月12日、『本気の葡萄(ぶどう)づくりチャレンジ説明会』と題し、ブドウ栽培希望者向けの説明会・現地見学会を、当課が農業センターおよび高島市と共催しました。日中勤めに出られている方やブドウ栽培に興味がある方などが気軽に参加しやすいよう休日の開催としました。

本企画では、初めに室内で当課からブドウの栽培や品種紹介、収益性、栽培にかかる費用と労力などについて説明しました。その後、現地見学会として昨年ブドウを植栽し、今年初収穫を迎えているほ場へ移動し、園主から栽培について話していただき、参加者と交流を図りました。

当日は12組14名の参加があり、このうち5組6名の方から栽培開始に向けて相談を受けて、ほ場を確認したりブドウ棚を設計するなど、対応しているところです。

今後も関係機関と連携し、市内ブドウ栽培の担い手を育成できるよう支援してまいります。



『本気の葡萄(ぶどう)づくりチャレンジ説明会』現地見学会